

2002年度 JRGA 理事会 議事録

日時：2002年2月3日 10：00～16：00

場所：愛知県勤労会館

参加者：辻理事長、永井副理事長、武笠、桜井、杉浦、橋本、大能、河西、渡辺（富山）、市村、稲葉、宮川、濱田、浅野、青木（新理事）、星島（新理事） 計16名

1、開会の言葉：辻理事長

2、顧問挨拶代読：竹山 裕 参議院議員の挨拶文を河西理事が代読された。（別紙）

3、理事会成立宣言：橋本会長代理

理事合計36名中 出席者14名 + 委任状19名 未回答3名で理事会は成立した。

4、議長及び書記の選出

議長：永井副理事長 書記：浅野理事が選出された

5、議事

5. 1 報告事項

5. 1. 1 2001年一般活動報告

各理事より昨年の活動報告があった。

5. 1. 2 2001年会計決算報告（別紙参照） 橋本理事

5. 1. 3 2001年会計監査報告

監査の結果、会計報告に関して問題ないことが確認された。

5. 1. 4 理事離任報告

真部文明氏（愛媛）および、休会理事の離任報告があった。

5. 2 審議事項

5. 2. 1 新理事承認の件

兵庫の星島洋介氏、香川の篠原英彰氏、静岡の青木健児氏が新理事として承認された。また、昨年度の新任理事である宮川氏、濱田氏、稲葉氏より挨拶があった。

5. 2. 2 ミニグライダー級への滑空記章の提案

底辺拡大の目的で、ミニグライダー級に対して、滑空記章をとりやすいように、ミニグライダーについては 翼面荷重条件を外すことにする。

また、そもそも JRGA 会員や模型飛行士登録が申請の条件であり、底辺拡大にはな

らないのでは?という意見も出たので、その条件を外す。尚、立会人についてはJRGA 会員限定とする。

また、申請者の条件として有効なラジコン保険に加入でも可とすることを追加する。

5. 2. 3 2001年日本模型航空連盟グライダー委員会議事報告(別紙)

5. 2. 4 F3B グライダー底辺拡大に関する件

JRGA 理事会からの意見として下記内容を JMA グライダー委員会へ提出することになった。

- ・いきなりのルール変更はやめてほしい。せめて移行期間として1年ほしい。(バッテリー、ウインチ等)
- ・JMA のグライダー委員会は会議開催規定等を作って確実に開催してほしい。
- ・昔のように、F3B 日本選手権でミーティングをしてほしい。そこで F3B に関する情報交換の場、意見を出す場として頂きたい。
- ・選手権の助手1.5万円は高すぎないか?という意見もあった。
- ・バッテリーの規制については従来通りに戻してほしいという意見もあった。

5. 2. 5 F3B、F3J、F5B 世界選手権派遣基準について

「日本選手権2年間得点合計の8位までの人に、参加資格を与えている」

「運用面では F3B, F5B は 5R 合計/6R 中 F3J は 2 年間の決勝の合計とし、8 位以下の人も、繰下げして参加することができるようにしている」との報告があった。但し、詳細面で不明確な部分があり、グライダー委員会で再検討して頂き、明確になり次第明文化して広報して頂くよう依頼する事となった。

5. 2. 6 グランドチャンピオン結果

サーマル部門は依岡節雄氏、スロープ部門は片山敏彦氏が2001年度チャンピオンに決定した。

尚、今年度のみ殿堂入りを残した状態で JRGA として表彰するが、今後は殿堂入りという扱いを廃止して年間ポイントランキングとしてラジ技にも発表することになった。

5. 2. 7 2001年度会計予算案審議。(別紙参照)

収入が減少している中で、世界選手権援助金負担が大きすぎるのでは?ということになり、年会費収入予算ベースの5%程度を一種目当たりの金額とすることになった。

5. 2. 8 2002年度競技会スケジュール調整が行われた。(別紙参照)

以上